



「雑巾がけ」に思う…

「雑巾がけ」というと何を連想しますか？そう、毎日の放課後の清掃風景がパッと思い浮かびますよね。本校勤務8年目を迎える私にとっては、もう当たり前の光景となりましたが、赴任当時はたいへん驚いたことを憶えています。大掃除ではない、普段の放課後の清掃で、教室や廊下、階段にまで毎日雑巾がけをするというのは、過去に私が赴任した高校の中でもなかなか見られない光景でした。今や西高の一つの「伝統」ともいえる毎日の雑巾がけの甲斐あって、校舎内がいつも綺麗なのだと思います。

5校時終了のチャイムが鳴り、清掃監督場所へ向かう途中、渡り廊下や階段を手際よく雑巾がけをしている3年次生や2年次生の姿を目にします。人通りが多いですから、タイミングを見計らった作業です。さすが上級生はその所作が機敏だな、と気づかされます。1年次生の皆さんも、入学当初は、雑巾がけなんて汚くて嫌だな、と思っていたかもしれませんが、みんなでやっていくうちに徐々に慣れ、動きも洗練されてきたと思います。それとともに、校舎に愛着がわき、嫌なことから逃げ出すのではなく進んで取り組む前向きな気持ちが、知らず知らずのうちに育ってきているように思います。何歳になっても、将来「雑巾がけ」という言葉を聞いたり、実際に雑巾がけをする機会に遭遇したりしたとき、高校時代を過ごした校舎の風景が鮮やかに蘇ってくる、思い出のひとつがホッと心を温めてくれる、そしてさらに西高生としての連帯感を想起できるとしたら、それはたいへん素晴らしいことではないでしょうか。

11月は…

○2年次履修科目の本登録

11月7日(月)が登録の最終締め切りです。これからの高校生活および将来の進路について保護者とも相談しながらよく考え、文系・理系の選択、受講科目を決めてください。わからないことや不安なことなどがあれば、担任の先生や教科担当の先生に相談してください。

○最終下校時刻が18:30になります

11月から最終下校時刻が早くなります。部活動等による延長申請が認められた場合でも18:30完全下校となります。この時間には、学校の敷地外に出て、速やかに帰途につくことになっています。朝夕の寒さとともに日が暮れる時間が早くなってきました。登下校時の安全については細心の注意を払ってください。

- ・夕暮れ時は、自転車のライトを早めに点灯する。
- ・制服の色は暗く自動車から見えにくいいため、反射材などを活用し、自分の存在を周囲に知らせてください。

○「冬服期間」(11/1~4/30)になります

登下校の際は、上着(冬服)を必ず着用してください。また女子生徒は、ネクタイまたはリボンを必ずつけてください。式典時等、ネクタイの着用を指定することがあります。

○「山梨県高等学校芸術文化祭」が開催されます

コラニー文化ホールや県立美術館で、発表や作品を鑑賞できます。普段の学校生活ではなかなか接することのない、友人の別の一面や才能に触れることができると思います。ひととき、芸術の秋を感じてみませんか。

○「通学時マナーアップ運動」(16日)

県下一斉に、高校生の通学マナー向上の啓発運動が展開されます。バスや電車乗車時のマナー、自転車やバイク運転時のマナーなど、周りの人に思いやりある行動を心がけてください。そのことが自分自身の安全にもつながります。

○11月21日(月)から第3回定期試験が始まります

9月末に行われた第2回定期試験では、勉強不足や取り組みの甘さ、課題が出せていなかった、特定の科目が苦手等の理由から力を発揮できなかった人が見受けられました。今年度あと2回の定期試験を、自分の力が伸ばせるものにしましょう。そのためには一日一日の積み重ねが大切です。これまでの取り組みを振り返り、計画的にしっかり準備して試験に臨んでください。

【11月行事予定】

A：A週 B：B週 行：学校行事 を表します

日	曜	A/B	予 定
1	火	A	冬服期間(～4/30)
2	水	A	
3	木		文化の日
4	金	A	
5	土		ベネッセ総合学力テスト(1,2年)
6	日		
7	月	B	履修本登録締め切り
8	火	B	
9	水	B	生徒協議会
10	木	B	県芸術文化祭パレード・グランドステージ
11	金	B	【短縮50分授業】大掃除・校外清掃、冬季原付免許取得説明会
12	土		土曜講座(1,2年)
13	日		
14	月	B	【短縮60分授業】キャリアガイダンス職業編(1年)
15	火	A	

日	曜	A/B	予 定
16	水	A	第4回マナーアップ運動
17	木	A	
18	金	A	
19	土		
20	日		県民の日
21	月	行	第3回定期試験
22	火	行	第3回定期試験
23	水		勤労感謝の日
24	木	行	第3回定期試験
25	金	行	第3回定期試験
26	土		
27	日		
28	月	B	【短縮60分授業】未来の科学者訪問セミナー(1年)
29	火	B	【短縮55分授業】『総合的な探究の時間』講演会(1,2年)
30	水	B	

保護者のみなさまへ

- 保護者の皆様におかれましては、日頃より年次運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
- ◎10月12日(水)の「第25回健康の森ウォーキング大会」では役員の皆様を始め、多くの保護者の方々のご協力を得て無事に終了することができました。心より感謝申し上げます。
 - ◎11月7日(月)に来年度の履修本登録があります。ご家庭で話し合いの場をお持ちいただければと思います。
 - ◎11月から下校時間が18：30となります。日没時刻も早くなりました。学校でも登下校についての注意を促しておりますが、ご家庭でも日々のお声がけをよろしくお願いいたします。

1組副担任の石原理紗先生(家庭科)に寄稿していただきました。

「少しずつ」

1組 副担任 石原 理紗

「家庭科が大好き！」という声を方々から聞き、嬉しく思っています。

自分らしい充実した生活(衣食住も含め)を送れるって…素敵ですね。

私が最近感じた充実感は、日本代表の久保建英選手に憧れる、9歳のサッカー少年である息子の成長を目の当たりにした時です。昨年、ある試合でMVPを頂きました。親としては、このことがきっかけとなり、さらにサッカーを愛するのではないかと期待をしながら、見守ってきました。1年が過ぎ、身長が伸び、筋肉が付き始めたせいか、自分の体をうまく使うことができなくなり、失敗の連続。今年の大会ではチームメイトがMVPを獲得しました。息子はきっと悔しかっただろうし、負けたくない!と思ったはずです。息子の気持ちに同調する私に反して、寡黙な夫は「人には、一人一人に魅力(武器)がある。大丈夫だ。」と声をかけていました。私は胸が熱くなりました。

今、息子は、自分がどんなサッカーをしたいのか考え、自分の目標に向かって毎日練習に励んでいます。懸命に向き合う姿は、私自身の元気の源になっていることにも気が付きました。

皆さんの頑張っている姿も、誰かを勇気づけているはずに違いありません。

皆さんは応援される人間です。そのために今何か必要か考えてみる時間も大切だと思います。

心の成長は、自分らしい生き方の土台となります。

最後に、マラソンのオリンピック金メダリスト、高橋尚子さんの言葉を紹介します。

「ちょっとだけ頑張ることを毎日続けてみよう」。

「ちょっとだけ」を続けて、昨日までの自分を少しでも超えることは大切です。

皆さんはひとりではありません。仲間と支え合って、1年次後半も自分らしく駆け抜けてください。

応援しています。

